

山口県農業試験場跡地

若者・子育て世代を惹きつけ、山口を牽引するエリアに

～サウンディング型市場調査^{*}(直接の対話による民間事業者から意見を把握)を開始～

令和5年 第4回山口市議会定例会 **質問と答弁**

農業試験場跡地利用の 進め方について



「未来のまち」のコンセプト

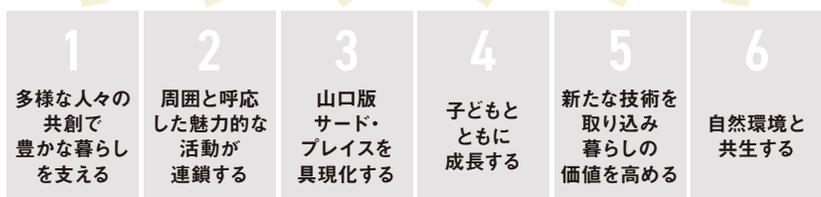
コンセプト実現に向けた核となるテーマ
創造的に交わる

みんなで紡ぐ 幸せのまちづくり

～誰もがつながり合い、共に活躍し、心豊かな生活が続いてゆくまち～

「未来のまち」の 3つのカタチ

- 将来にわたり、自立発展できるまち
- 新しい価値観やライフスタイルに基づくまち
- 若者・子育て世代を惹きつける、山口の未来を牽引するまち



▶質問

今後、農業試験場の跡地利用に関して、その内容を決めていくためにどのような予定で、どのように進めていくのか伺う。

▶答弁

これまで県と本市で構成する検討協議会において検討を進め、昨年度は基本構想を策定した。今年度から基本構想に定めるコンセプトを具体化し、導入する機能等を盛り込んだ基本計画策定をコンサルタント事業者も活用しながら県と連携して進めている。令和5年11月開催の検討協議会において検討状況の中間整理とともに、交通渋滞対策や雨水排水対策等の諸課題への対応状況についての報告がなされ、この中間整理では導入する機能や事業手法等を検討するため方向性の整理を行った。具体的には、跡地の利活用において関連性が高いと想定される企業、団体等へ幅広く事前ヒアリングを実施するとともに先進地事例の調査を行い、それらをもとに6つの機能を整理した。

- | | |
|-------------|--------------------|
| ① 居住・生活利便機能 | ② 地域交流機能 |
| ③ まちのリビング機能 | ④ 遊び・学び・文化機能 |
| ⑤ チャレンジ支援機能 | ⑥ 資源・エネルギーマネジメント機能 |

併せて、本市としては、地域交流センター機能、グラウンド機能、公園機能についての検討を進め、その実現に向けて着実に進めること、若者の転出超過への対応、子育て世代の転入超過をしっかりと持続的なものとして加速させることを考えている。交通渋滞対策、雨水排水対策などの諸課題についても、しっかり対応すべく基本計画に反映させる。令和6年2月頃に基本計画の骨子案を示し、5月から6月頃に素案、8月から9月頃に最終案を取りまとめ、10月頃を目途に基本計画を策定する。基本計画策定後については、利活用に関わる事業者の選定に取り組んでいく。

基本計画策定までの今後のスケジュール(予定)

| | |
|---------|------------------------|
| 令和6年2月頃 | 農業試験場等跡地利用検討協議会審議(骨子案) |
| 5～6月頃 | 農業試験場等跡地利用検討協議会審議(素案) |
| 8～9月頃 | 農業試験場等跡地利用検討協議会審議(最終案) |
| 10月頃 | 計画策定、公表 |



^{*}サウンディング型市場調査:事業発案や事業化検討の段階で、事業内容等に関して、民間事業者の意見や活用に向けたアイデア等の収集を、直接の対話によって行う手法。

若者・子育て世代に魅力的なまちづくり

これからは多様化する価値観に応じた暮らし方が求められます。働き方の選択肢も広がって、地方への人の流れが創出されることで、少子化の流れも変えていくことが求められます。農業試験場跡地がこうした流れをつくっていきけるエリアになってほしいと思います。市民の皆様にも関心を持っていただき、どのようなまちづくりが将来の世代に魅力的なのか一緒に考えていきたいと思っています。



子ども医療費無料化 高校生までの拡大について

▶質問

高校生までの医療費無償化制度の開始時期や対象者の範囲などの制度内容について、新年度予算編成方針を示された中での検討状況について伺う。

▶答弁

高校生世代における通院・入院の場合の医療費について集計し、医療費助成の単年度当たりの事業費の試算を行うなど、事業化した場合の財政見通しの試算を終えた。また、ひとり親家庭医療費助成など、他の福祉医療制度との整合を図るなど、制度運用上の実務整理を並行して行っている。今般の制度拡充については、対象世帯の保護者の所得制限を設けず、助成内容も通院・入院いずれも対象とすることを念頭に置き、対象者の範囲を学年ごとに段階的に導入するのではなく、高校生世代全体に対して一括導入することにより、医療費助成の拡充の効果をより強く実感していただけるものと考えている。

▶議会での主張

隣接する市が実施をして、本市が実施をしなかったら、地域の同じ高校の中で、生徒間に格差が生じる。高校生世代を念頭に実効性のある取組とすべく、先行自治体の制度や財政見通しを踏まえ、できるだけ早い時期に、子ども医療費助成の拡充ができるよう検討を進めると答弁されているが、高校生までの医療費無償化制度は、本市においても令和6年度から実施せざるを得ないのではないか。

▶市長定例記者会見(令和5年12月21日)

通院・入院などの保険診療の自己負担分を助成して無料にする対象を高校生まで拡大する。開始時期は令和6年10月、所得制限は設けない。新たに対象となるのは約5,000人、年間約1億8,000万円(令和6年度は半年間で約9,000万円)の支出を見込んでいる。

山口市民会館の 老朽化対策について



ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団・山口公演第九合唱団(令和5年12月29日)

▶質問

再整備の方向性が示されるまでには、その間、施設利用に向けた適切な維持管理が必要である。新年度予算における、老朽化した市民会館の維持管理について伺う。

▶答弁

施設自体や舞台関係設備、空調設備など様々な設備の老朽化が進行して

おり、施設を機能更新とするのか、あるいは建替え整備を行うのか、協議検討を進めている。そうした中、吹奏楽団や交響楽団など、市民会館で公演をされている楽団等を中心とした皆様が、山口市民会館の建替えを実現する会を設立された。このように、市民の皆様の間でも、市民会館に関する議論の機運が高まりつつあるものと認識している。市民会館の老朽化対策については、今年度、館内空調設備の改修工事や舞台照明器具の交換修繕等に取り組んでおり、来年度についても、施設の安全確保や企画事業を実施する上で必要となる備品の修繕など、市民会館の管理運営に必要な予算編成を進める。

 **山口市民会館の建替えを実現する会**



山口市民会館の建替えを実現する会Facebookページ
<https://www.facebook.com/yimbunkahall>

▶議会での主張

老朽化した市民会館で定期的に演奏会が開催されるので、再整備の方向性が示されるまでの間、施設利用に向けた適切な維持管理が必要だと指摘する。

河川の浚渫予定について

▶質問

令和5年6月末からの豪雨では、市内各所で甚大な浸水被害が発生したが、令和6年の出水期に向けて、事前の重要な対策となる河川の浚渫予定について伺う。

▶答弁

県河川の浚渫について、榎野川においては、上流から宮野上の七房団地周辺、古熊の上山口駅の裏手辺り、平川の平川河川公園の上流に位置する豊年橋周辺と九田川との合流部付近、小郡の八方原周辺で実施される。仁保川においては、仁保中郷の周辺、問田川においては、大内矢田南の光円寺橋から上流部、吉敷川においては、国道9号を渡った南側周辺、大歳小学校近くの千代丸橋と黒川橋の間、このほか、宮野の古甲川や小郡上郷の茶屋川下流部においても、浚渫を実施すると伺っている。



2級河川問田川(光円寺橋の上流付近)での浚渫工事

▶議会での主張

令和8年度の雨水総合管理計画の策定、計画に基づく施策の実現まで、浸水対策については浚渫など、しっかり対応するよう要望する。

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、ご覧いただき、お気軽にご意見等をお寄せいただければ幸いです。

